

外国語教育メディア学会（L E T）関西支部中学高校授業研究部会・
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

2011年度 4月例会のご案内

日 時： 2011年 4月10日（日）13：30～16：30

会 場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： L E T会員・英語の教え方研究会会員 無料
京都外国語大学英語教育研究会会員 300円
学生 200円 一般 500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp
鈴木寿一（京都外国語大学） j_suzuki@kufs.ac.jp

内容：

13：10～ 受付

13：30 開会（途中休憩あり）

仮想的身体運動意味論とは何か

京都教育大学 西本有逸

仮想的身体運動意味論—いかにも堅苦しい響きですが、人間が物事を想像するときにはそれに関与する身体を動かす脳の部位がはたらいている、ということです。「身体を動かす神経系が実際の身体運動をともなわずに活動することを、仮想的身体運動」と呼んでいます（月本洋・上原泉 2003.『想像：心と身体の接点』ナカニシヤ出版）。実は1990年代以降の脳の非侵襲計測の進歩・発展に伴って次のことが明らかになっています。「想像するときには活性化する脳の部位と、実際に動かすときに活性化する脳の部位は基本的に同じである。」（同上 2003: 5）この事実は外国語教育に極めて大きな意味合いを持つのではないのでしょうか。本発表では、ジェスチュアの指導（DVD視聴）・語彙指導・音読指導など具体的な教育場面に現れる仮想的身体運動意味論について考えたいと思います。

意味概念と形式をつなぐ語彙指導：指導要領の改訂を受けて

京都府精華町立精華西中学校 森永由佳梨

自身の英語教育実践を振り返ると、効率や必然性の名のもとに意味と形式のつながりが意識されないことも多く、その事が生徒の言語習得に大きな影響を与えていたという実感があります。そのような課題意識や昨年度大学院で学んだ事から、日々の実践の中でいかに生徒の持つ心象や思考にふれる事ができるか、それによってどのような力を生徒に付けたいのか、という視点を大切にするようになりました。

また、指導要領の改訂を受けて小・中・高の連続性における各校種の役割を意識することがより求められるようになっていきます。中学においては語彙数、リーディング量ともに増加しますが、長期的な言語学習の基礎を築く上でも、私は生徒自身が自分の学習を把握し、コントロールする力を育てていけるような実践が必要だと考えています。

今回の発表では語彙指導に絞って、過去の実践やこれから考えている取り組みについてお話をさせていただきます。まだまだ研鑽中の身ですので、ご参会の皆様からたくさんのご意見ご感想をいただき、私自身も勉強させていただくことができると考えております。

16 : 30 閉会

会場までのアクセス：

1) 京阪電車利用の場合

- ・淀屋橋、天満橋、京橋からは、特急あるいは快速急行で丹波橋下車、普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（所要時間約40分）。徒歩約8分。
- ・四条からは、普通あるいは準急電車で墨染駅下車（所要時間約15分）。徒歩約8分。

2) JR京都駅よりJR奈良線利用の場合

JR京都駅でJR奈良線に乗り換え、普通電車でJR藤森駅下車（乗車時間約8分）。徒歩約3分。

3) 奈良方面より近鉄電車利用の場合

西大寺にて快速または快速急行に乗り換え、丹波橋下車。京阪本線普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（乗車時間約40分）。徒歩約8分。

お願い： 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は j_suzuki@kufs.ac.jp までお知らせください。

今後の予定：諸般の事情で日程・会場が変わる可能性もあります。

5月例会 休会 (5月14日にLET春季大会が同志社女子大学にて開催されるため)
6月12日例会 京都教育大学
7月10日例会 //
9月11日例会 //
10月例会 休会 (LET秋季大会が開催されるため)
12月11日例会 京都教育大学
1月 8日例会 //
3月下旬 第18回中学高校教員のための英語教育セミナー